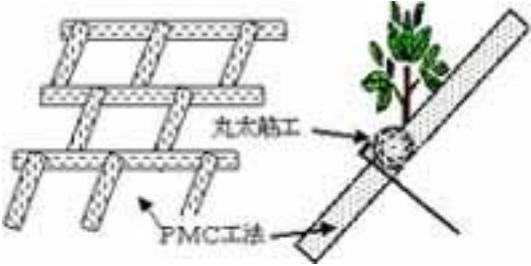
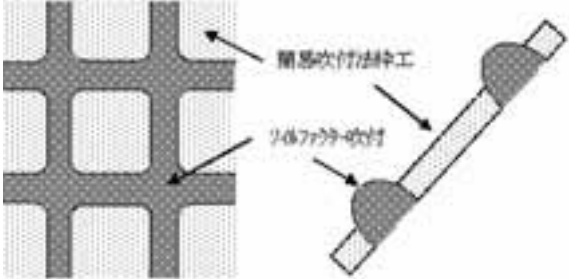
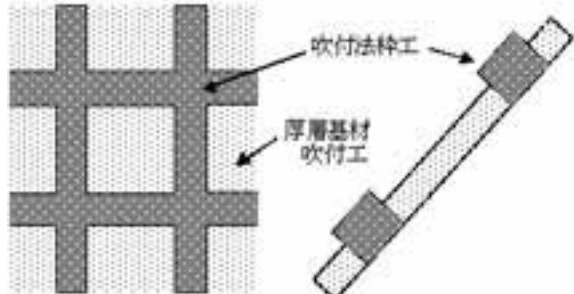
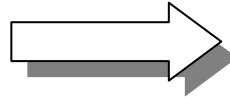


丸太筋工と他工法（のり砕工）との比較

工法	丸太筋工（格子状）	簡易吹付のり砕工 （ソイルクリート工法）	吹付法砕工 （フリーフレーム工法）
施工方法	丸太を法面に平行して横筋状に伏込み、横筋間を縦丸太で連結して、法面に格子状の丸太筋工を設置する。 丸太筋間の斜面はPMC工法で緑化する。	法面に鉄筋を格子状に組立て、鉄筋に沿ってモルタルを吹付けて欠円状の法枠を形成する。 法枠内には指定の生育基盤材を吹付ける。	法面に金網製の型枠を格子状に設置し、型枠内にモルタルを吹付けて正方形の法枠を形成する。
使用材料	間伐材（末口径6～12cm）を大量に利用。 県内の公共下水道汚泥や公共工事の支障木を再生利用したPMC基盤材。	鉄筋（ガッテンダー・ダイザー）及び生育基盤材（ソイルファクター）は特許製品で会員以外施工できない。	金網製の型枠材料（フリーフォーム）は特許製品で会員以外施工できない。
特徴目的	間伐材の利用促進。 丸太筋で法面（斜面）を細分割化し、法面表層の侵食防止と緑化のための生育基盤を保護する。 苗木植栽の足場確保。丸太による保水性の向上。	吹付法砕工により法面表層と生育基盤の安定をはかる。 地山の凹凸に沿った施工ができる。	法枠が連続しているため強度が高く、法面崩壊に抵抗力がある。
適用	長大法面や侵食されやすい法面。 崩壊しない比較的平滑な法面。	表層剥離崩壊にある程度抵抗力があるが安定した法面。	急勾配でも施工できる。
構造			
価格	5,170円 / m ² 丸太筋工 + 生育基盤材の吹付け （PMC工法緑化ネット入り 5cm厚 を含む）	9,630円 / m ² 簡易吹付法砕工 + 生育基盤材の吹付け （ソイルファクター吹付け 5cm厚 を含む）	17,200円 / m ² 吹付法砕工（200mm） + 生育基盤材の吹付け （厚層基盤吹付け 5cm厚 を含む）
施工団体	群馬県リサイクル緑化協会 （群馬県内法面専業者）	簡易吹付法砕協会	フリーフレーム協会
		特許契約済みの全国特定業者。特許権者から資材を購入。特許料が必要。	

丸太筋工（格子状）の特徴

間伐材の利用促進がはかれます。

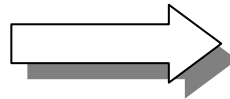


1千㎡当たり 約455本（3mの丸太）

PMC工法の実績「平成12年度林務部」に使用した場合は

（面積74,000㎡） 33,670本

丸太筋で長大斜面を細分化します。

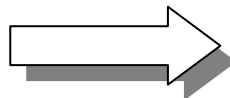


雨水を分散し、表面土壌の侵食を防止します。

凍上、凍結融解による地表面の滑落を防止します。

緑化基盤土壌を保護します。

丸太材で保水性が高まります。



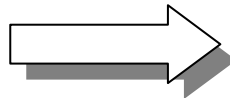
コンクリート製に比べ水を貯えます。

植物が健全に育ちます。

斜面上での苗木植栽の足場が確保できます。

苗木の活着や生育がよくなります。

景観保全・低コストの効果



天然素材で自然環境に調和します。

二次製品に比べコスト縮減がはかれます。